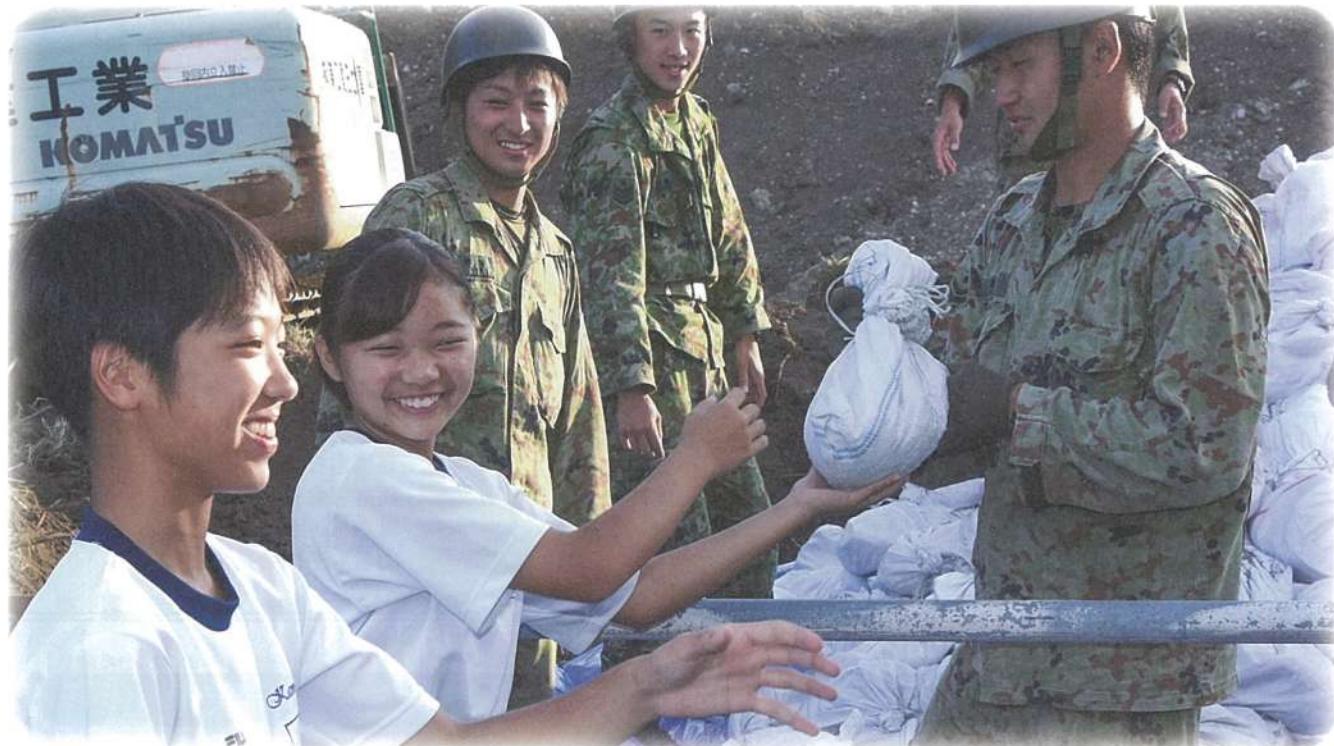


第14号

きずな

編集・発行 鴨川市民生委員児童委員協議会（事務局：鴨川市健康福祉部福祉課 TEL 7093-7112）令和2年3月発行



自衛隊と土のう作りをする鴨川中学校の生徒

地域の絆を考えよう



鴨川市民生委員児童委員協議会

会長 榎 本 豊

鴨川市民生委員児童委員協議会の広報誌「きずな14号」
発行にあたり、一言ございさつ申し上げます。

昨年五月、平成から令和へと新しい時代が始まり、二〇二〇年には、オリンピックが東京で開催される明るい希望に満ちた時が来るべく期待をしていたところでしたが、昨年の九月、十月、今まで経験した事のない大きな台風の直撃により大規模停電、強風豪雨と甚大な被害が発生しました。被災されました皆様方には心からお見舞い申し上げます。

さて、昨年十二月には三年に一度の民生委員児童委員、主任児童委員の改選があり、鴨川市においても七八名のうち、二十四名の方々が新たに委嘱されました。民生・児童委員活動につきましては新人ではありますが、地域の中で温かく迎えていただき、ご支援を賜りますようお願いいたします。民生・児童委員活動には、地域における信頼関係が大切であり、自治会・町内会などの関係も大切です。特に災害に際してはなくてはならない組織であります。大規模災害など緊急の場合、命を守るには、自助、互助、共助、公助の順にそれぞれが連携することが大切であると考えます。

民生委員児童委員協議会は、お互いに助け合い、安心で安全な、そして人としての尊厳を大切にするまちづくりを目指しています。お近くの民生委員児童委員に日頃の心配事や福祉情報など、どうぞお気軽に尋ねください。終わりに、皆さまが健やかに過ごされることを祈念しまして、あいさつとさせていただきます。

榎本豊氏 千葉県民生委員児童委員協議会の会長に就任

公益財団法人 千葉県民生委員児童委員協議会では、令和2年1月27日(月)開催した評議員会・理事会において、一斉改選に伴う役員改選が実施されました。そこで新たに正副会長が選任され、榎本豊氏を新会長とした新執行部が発足いたしました。

(榎本豊新会長 就任あいさつより)

民生委員制度は、大正6年に岡山県で発足した「済世顧問制度」をその源とし、平成29年度には制度発足100周年を迎えた歴史ある制度です。

現在、全国には厚生労働大臣から委嘱を受けた約23万人の民生委員児童委員、主任児童委員が、地域と住民に寄り添いながら、もっとも身近な相談相手として相談・自立支援活動を行っているところです。

また、県内においては、(千葉市を除き)約7,300名の民生委員児童委員、主任児童委員が、各市町村の地域性を活かしながら特色豊かな活動を展開しています。

私たちは、引き続き、地域で暮らす高齢者や障がい者、子育て世帯が抱える生活・福祉課題に「我が事」として耳を傾け、その人らしく生活できる地域づくりの一助となるよう活動を進めてまいりたいと存じます。

そして、皆さまが担当の民生委員の顔を思い浮かべることができるよう、地域に寄り添った活動を心掛けてまいります。

皆さまにおかれましても、お住まいの地域の民生・児童委員活動へのご支援・ご協力を願い申し上げます。

公益財団法人 千葉県民生委員児童委員協議会
会長 榎本 豊



左から
平川茂光副会長(松戸市)
高橋君枝副会長(習志野市)
榎本豊会長(鴨川市)
渡邊武副会長(浦安市)
山名恵子副会長(柏市)

厚生労働大臣表彰報告

社会福祉功労者 厚生労働大臣表彰を受賞

社会福祉の充実をめざす令和元年度全国社会福祉大会が11月に東京都港区で開催され、長狭地区の鈴木信子委員が民生委員児童委員功労者として厚生労働大臣表彰を受賞されました。この賞は、多年にわたり民生委員児童委員として社会福祉の推進に貢献し、その功績が顕著な方を表彰しているもので、9期27年の長きにわたる献身的な活動が認められたの受賞となりました。全国約23万人の民生委員児童委員から今回受賞された方は鈴木委員をはじめ327人、千葉県内においては5名・1団体のみとなります。

昨年度は当鴨川市民生委員児童委員協議会が優良団体として認められ団体表彰を受賞し、2年続けての栄えある受賞となりました。



(本人より受賞のコメント)

このような大きな賞をいただき、恐縮しております。9期27年続けてこられたのは、先輩・同僚委員のご指導によるものと感謝申し上げます。また、加えて地域の皆さまの温かいご理解と支えによるものと重ねて感謝いたしております。

この受賞を励みに、今後も知識や技術の習得に努め、地域福祉の向上を目指して民生・児童委員活動を展開してまいります。

部・会・だ・よ・り

児童福祉部会



部会長
市川能成

児童福祉部会は昨年度に引き続き「課題を抱える親子を早期に発見し、つなぎ、支える」を、今年度の方針として活動しています。

各委員が地域での見守り活動や相談活動に取り組み、課題を抱える親子を関係機関につなぎ、支援しています。幸い、鴨川市では他地域に先駆けて、「福祉総合相談センター」がふれあいセンターに開設され、家庭の中のいろいろな困りごとの相談に応じています。とても良い制度ですので、市民の皆様に紹介いたします。相談窓口の電話番号は(7093)1200です。

日頃の活動と共に、昨年の2月には君津児童相談所を視察しました。児童相談所には、保護者が養育できない児童が保護されていますが、その半数以上が虐待によるもので、九割の児童が家に帰る願望があるということです。

10月には、明星大学川松亮教授をお招きして、「子どもの貧困の現状と支援」というテーマで講演会を開催しました。子どもの貧困ラインは、所得が年間ほぼ122万円未満の家庭で、およそ、16%が該当します。これを、一人親家庭でみると、55%に跳ね上がり、国際的にもOECDの中で下位になっています。一人親家庭のなかには、非正規や複数の仕事を持つて働いたり、育児時間が少なめになったりして、子育てにきびしさが増している家庭もあるそうです。子育て家庭への支援の必要性を強く感じました。

援護対策福祉部会



部会長
鳥居佳一

11月18日、鴨川市の障害者利用施設の福祉作業所を視察させていただきました。当施設は昭和58年に市により設立され、社会福祉協議会が委託運営、平成18年より指定管理事業者として同法人が運営しています。台風災害への対応が残る状況のなか、所長の竹井氏による説明と所内の案内で見識を深めることができました。正式には「就労継続支援B型事業所」といい、「A型」が“雇用契約”であるのに対し「B型」は“サービス”という違いがあるそうですが、各種食品（例：夏みかんマーマレード）生産・販売、委託作業（例：電気部品組み立て）などで得た工賃は利用者に還元されます。製品の販売や、委託作業の開拓などで苦労されているそうで、工賃（全国、県平均を下回る）を上げていくことが目標だそうです。また、作業などを支えるボランティアを募集しています。

その後、ふれあいセンターへ場所を移し、福祉課障害福祉係長の嶋津氏を講師に、市の障害福祉行政全般について学びました。身近なところに福祉を支える人や制度、組織があることを再認識しました。

高齢者対策福祉部会



部会長
酒井正廣

薬物の恐ろしさを学びました

2000年に介護保険制度がスタートし、新時代における認知症高齢者の担い手と社会から大きな期待をされた中で、2月15日（金）に認知症型グループホーム「いきいきの家岬（いすみ市）」を視察いたしました。

現在の運営状況などについて問うも、これまでグループホームの入所は空きがなく入所が困難と言われてきたが、最近は国土交通省が推進しているサービス付き高齢者向け住宅が急激にその数を伸ばし、そして何よりも入居費用が安く設定されていることから、グループホームに空きが出てきているのが現状であるとのことでした。

そして、近くにある東京オリンピックのサーフィン会場となっています釣ヶ崎海岸（一宮町）を見学し、日本選手の活躍を祈りました。

2020年2月に実施予定の施設見学をインフルエンザなどを考慮し、9月に特定非営利活動法人「館山ダルク」を訪問する予定でありましたが、台風15号の甚大な被害のため変更を余儀なくされ、11月11日（月）に視察いたしました。

薬物・アルコール、ギャンブル依存症などで27歳から78歳まで97名が入所している中で、現在、職員として働く4名の方が自身の過去の生活状況を話してくれましたが、薬物で警察のお世話になった回数が紙面ではとても伝えられなく、委員の想像を絶するものがありました。

毎回、止めようと刑務所を出るが周辺に仲間が一杯いて安易に手を出してしまった。後悔の連続であると話し、「頑張る」のではなく「踏ん張る」気持ちで生活し、同じ境遇の方の手助けをしながら自立を目指していると訴えました。

薬物に溺れてしまい苦悩している人が多々いるようですが、特に薬物依存症の子供が薬物依存に陥る可能性が高いとのことには深刻な問題であり、薬物の恐ろしさを学んだ一日でありました。



鴨川市社会福祉協議会
イメージキャラクター
葉っぴー

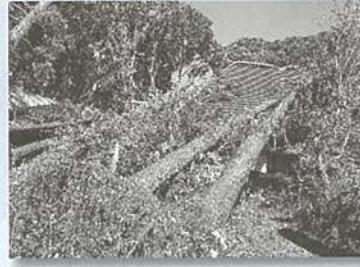
社会福祉協議会は地域福祉を推進するために各市町村に設置され地域での支え合い活動を支援する民間団体です。

令和元年度の鴨川市社会福祉協議会の主な話題をお届けします。



1 鴨川市災害ボランティアセンター

～台風15号・19号・豪雨で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。～



相次ぐ台風、記録的な豪雨により鴨川市でも広範囲で長期的な停電や断水、家屋の損壊、土砂崩れなど、これまでに経験したことのない被害が発生しました。鴨川市社会福祉協議会では、9月14日から鴨川市災害ボランティアセンターを開設し、一般ボランティアの皆さま延べ1304人、鴨川市を通じて自衛隊や茨城県建設業協会のご協力もいただき、損壊した屋根のブルーシート展張、屋内外など片付け、倒木(669件)に対応していただきました。11月1日より被災者生活サポートセンターに移行して、NPO法人レスキューアシスト(技術系ボランティア)の協力をいただきながら復旧活動に努めています。



2 第8回鴨川市社会福祉大会を開催

～日頃より社会福祉活動に功績のあった個人及び団体の皆様へ、感謝の意を表しました。～



鴨川市社会福祉協議会では、9月7日(土)に、ふれあいセンターにおいて、第8回鴨川市社会福祉大会を開催いたしました。

第1部の式典では、多年にわたり、地域福祉向上のために多大なるご功績をおさめられました個人・団体合わせて25名の皆さまへ、社会福祉功労表彰並びに感謝状を贈呈させていただきました。

第2部では、地域の終末期医療「看取り」を実践している山梨県甲府にある、ふじ内科クリニック内藤いづみ先生の講演とフォークシンガーの小林啓子様、地元のユーフォニアム演奏者吉田えり様のミニコンサートで感動をいただきました。



3 安房地域権利擁護推進センター

～ご自分で権利や財産を守ることがむずかしい方に「成年後見制度」の利用をお手伝いします。～

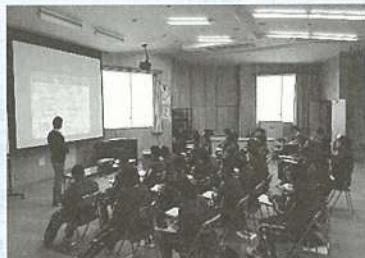


令和元年7月より安房地域権利擁護推進センターは、館山市、鴨川市、南房総市及び鋸南町が協定を結び、鴨川市社会福祉協議会が運営の委託を受け、安房圏域における中核機関としての役割を担うべくスタートしました。昨年度養成した市民後見人のフォローアップの研修を行いながら、安房地域における権利擁護についてさらに地域の皆様に寄り添った支援を行えるような機関として根付いていけるように努めてまいります。



4 地域における「福祉教育」の推進と充実

～誰もが主役で安心・元気で暮らせる地域づくりをめざして～



昨今では少子高齢化や単身世帯の増加、自治会加入率の低下など地域課題に対して地域住民同士の助け合いがますます必要になっています。この事から鴨川市社会福祉協議会では地区社協やボランティアグループ、福祉関係機関と協働で「人と人とのつながりや関わり」「他者への思いやりと関心」を学ぶ機会として、主に市内小・中学生を対象に高齢者疑似体験、車椅子体験、市内福祉施設などのボランティア活動、高齢者との交流などの福祉教育を実施しています。今後も高齢者や障害者の方々との交流や地域を見つめなおす機会をつくり地域で暮らす一人ひとりが地域福祉課題に気付き、自分に何ができるかを考える機会を提供してまいります。

お問い合わせ

社会福祉法人 鴨川市社会福祉協議会（ふれあいセンター2階）

TEL：04-7093-0606 FAX：04-7093-0623

HP：<http://www.kamoshakyo.or.jp/>

主任児童委員の活動



主任児童委員
梶 恵子

本年度の活動状況について

子育て世帯の応援事業として、主任児童委員制度が平成6年に設置され、私はその3年後に就任いたしました。

当時は、主任児童委員って何する人?と聞かれる事が多く、私自身も何をしたら良いか分りませんでしたが、現在では「こんにちは赤ちゃん訪問」をはじめ、子育てサロンや学校訪問、また、個々の活動により多くの人に知ってもらえるようになりました。

鴨川市でも、子育て支援室や認定こども園等々、子供を生み、育てやすい環境が整ってきたように思います。

ただ、子育ては本当に大変です。昨年は、台風・大雨など災害が多く、長引く停電の中、小さい子供さんをかかえて不安な思いをした方も多いかったのではないか?

市内には各地区2名ずつ、8名の主任児童委員がいます。身近な相談相手として、子供や子育ての悩みと一緒に考えていきたいと思いますので、困った時は1人で悩まず皆で未来の宝を育てていきましょう。

県内研修報告

私たち協議会は、担当地区内の諸問題の実情把握に努め、関係行政機関と連携を図りながら、地域の身近な相談役として、地域福祉の担い手としての自負と熱意を持って、日々の活動に取り組んでおります。

また、委員の意識高揚、委員間の連携強化に努め、多種多様な研修（講話・講演）を実施するなど、委員の資質向上に努めています。

虐待防止対策研修会

『社会的養護の動向と児童虐待防止対策について』



令和元年8月3日（土）
厚生労働省子ども家庭局家庭福祉課
社会的養護専門官 胡内 敦司 氏

虐待への対応について学び、多様化する虐待へつながるリスクの軽減・予防および早期発見に向けて、取り組みをしている鴨川市虐待防止連携協議会との共催により鴨川市ふれあいセンターを会場にして合同研修を行いました。

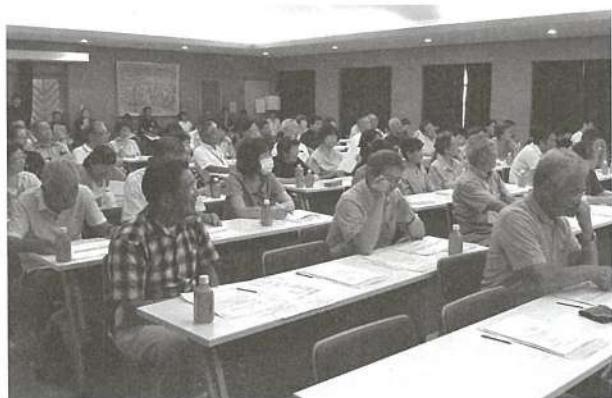
今回は、児童虐待に焦点を当て児童虐待や社会的養護や貧困などをテーマに地域全体で子ども・子育て気運の醸成を図る機会として、厚生労働省子ども家庭局家庭福祉課 社会的養護専門官 胡内敦司氏をお招きして『社会的養護の動向と児童虐待防止対策について』と題して、国の動向にとどまらず、市町村で活動する民生委員、福祉専門職が何が求められているのか、講演していただきました。

具体的には「児童虐待」により一時保護された子どもがふたたび家庭に帰れるかを児童相談所を中心に調整されます。しかし、家庭に帰ることがふさわしくない場合に「社会的養護」として施設・

里親で預かってもらうこととなります。子どもを見守り家庭を支援していく、入口から出口まで全体像を理解することで、民生委員児童委員の日々の活動の指針となりました。

子どもを見守る地域づくり、顔の見える働きかけが児童虐待を入口で防ぐことにつながるという気付きとなる研修となりました。

※「社会的養護」＝「保護者がいない子ども、若しくは保護者の下で監護されることが適当ではない子どもを公的な責任の下で社会的に子どもを養育して保護すること。加えて、課題を抱えているその家庭を支援すること」





鴨川市民生委員児童委員名簿



(令和元年12月1日現在)

民生委員・児童委員退任にあたって



前民生委員・児童委員
前江見地区民児協会長 佐藤 俊一



委嘱を受け、4期12年民生・児童委員を努めさせて頂き令和元年11月末日をもって退任させて頂きました。この12年間の任期中、福祉課の方々や、民生委員の先輩や同期の皆さんに支えられ、大過なく責務を終えられた事を感謝いたします。2期目より、地区会長および広報委員長を勤めさせて頂き、広く見聞と知識を高める事ができ、また、民生委員児童委員信条、児童憲章の唱和を担当することにより、民生・児童委員活動のあるべき姿の本質を理解できた様なレベルになった気がします。

この12年間、災害に多く接した事が、自分自身の災害に対するスキルアップとなりましたが、担当地区住民へ充分理解して頂ける活動となつたのか、コミュニケーション力の未熟さを感じました。特に昨年の台風15号、19号、21号がもたらした大雨災害により長期の停電、断水、通信機器の不通（2回）は、多少なりとも被害を受け支援が不充分であったのが悔やまれます。

地域が壊れ、家族がなくなる現状、少子高齢化が相当進行している地域や（高齢化率45% up）、自治会加入率が30%位という地域が混在し、多様化する課題がそれぞれにあり、民生委員の資質が問われ、力量のバラツキをいろいろな研修で埋める訳ですが、参加率が長年低下している現状であり、留任された方、新しくなられた方、各人の啓発を期待し、更なる新しい課題にも柔軟に対応する活動となる様に、一所懸命頑張って頂きたいと思います。

12年間ありがとうございました。

令和元年11月30日をもって退任された委員の方々

	担当地区	氏名
鴨川	川口西	戸田 和子
	岡貝渚	山田 厚弘
	横渚駅前・芝・昭和通り	相原 愛子
	広場北	市川 能成
	和泉	小畠 一成
長狭	竹平・京田・日摺間・金山	鎌田 勝巳
	平塚	原 宏美
	佐野・釜沼	川名 敏照
	大幡	金本 恵忍
	北風原・横尾	高梨 逸男
南	仲・大川面	早川八重子
	宮山・八丁	佐久間英夫
	南小町	田村 恵子

	担当地区	氏名
江見	江見東真門・江見西真門・江見外堀	石井 美枝子
	江見内遠野・東江見・西江見・西山	渡邊 和子
	江見吉浦・江見太夫崎・天面	梅林 洋子
	太海	橋本 達男
	宮・代・二子	鈴木 修三
天津小湊	仲町・上・東	志田 吉男
	西	佐藤 俊一
	5区～6区	四宮 文子
	新町	影山 廣子
	長狭地区（主任児童委員）	粕谷眞理子
長狭	長狭地区（主任児童委員）	川名 真弓

編集後記

榎本会長、千葉県民生委員児童委員協議会の会長に就任。そして鴨川市では24名の新委員が選任されました。

皆さん健康に留意して民生・児童委員活動に努力していきましょう。

退任されました委員の皆さん、長い間ありがとうございました。

鴨川市民生委員児童委員協議会 広報委員会委員名簿

前委員長	原 宏美	・	久保田和雄
田村	恵子	・	小林 晴恵
志田	吉男	・	白井 和枝
委員長	水野 文雄	・	松井 良枝
副委員長	佐生 好一	・	高瀬てい子
	首藤 悅子	・	石塚 則子

※事務局：福祉課地域ささえい係